

令和6年度 福祉保健部長「政策宣言」達成状況

福祉保健部長 杉本 寿

○ 令和6年度重要事業

事業名	重層的な支援体制の推進
目標	市民が抱える複雑化・複合化した様々な生活課題に対し、あらゆる関係機関が連携・協働しながら包括的な支援を実施し、誰もが安心して自分らしく生活できる地域づくりに取り組みます。
年度末達成状況	既存事業では支援対象とならない制度の狭間にある世帯が抱える課題の解決に向け、重層的支援会議等を開催し、当事者のニーズに寄り添いながら、各種制度の利用につながるよう地域包括支援センターや医療機関など庁内外の関係機関と連携・協働し継続的な支援を行いました。 また、不登校児童生徒が家族以外の地域の人と交流し体験活動をする機会や、義務教育終了後の年代で就労・就学していない方の居場所づくりに取り組み、社会とのつながりを回復できるよう参加支援事業を実施しました。 さらに、地域の支援機関等が顔の見える関係を構築できるようプラットフォーム交流会を開催しました。 そのほか「身寄りがいない方の支援に関するガイドライン」を作成し、権利擁護支援の理解促進に努めました。
自己評価	引き続き、関係機関とのネットワークを強化し、多様な居場所づくりなど支援に必要な社会資源の確保に努め、地域生活課題の解決に向けた包括的な支援体制の整備に取り組みます。

事業名	子育てに関する相談支援体制の充実・強化
目標	母子保健と児童福祉の機能を一体化し、本年度から設置している「こども家庭センター」において、切れ目のない伴走型のきめ細かな相談支援を行います。
年度末達成状況	こども家庭センターにおいての新規事業として、家事・育児サポート事業、未就園児等全戸訪問・アウトリーチ支援事業等を実施し、積極的な関わりの中で虐待を未然に防ぐ支援を行いました。 また、こども食堂や居場所に対する支援を行うなど、こどもたちが安心して過ごせる場の確保に取り組みました。
自己評価	引き続き、こどもまんなか社会の実現を目指し、新設するこども家庭部と連携を図りながら、切れ目のない伴走型のきめ細かな相談支援を行います。

事業名	福祉・健康計画に基づく福祉施策の推進
目標	市民ニーズを踏まえ、昨年度に策定した「射水市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画」のほか福祉施策に関わる各計画に基づき、「地域共生社会」の実現に向け取り組みます。
年度末達成状況	認知症の方が行方不明になった際に、より早く発見・保護できるよう、2次元コードを利用した認知症高齢者みまもり事業「どこシルプラス事業」を開始しました。 また、認知症の人とその家族が集い、仲間づくりや情報交換を行うほか、認知症地域支援推進員やささえ隊メイトと一緒に活動する「なごもっと」を、身近な地域で参加できるよう実施場所を市内全域に拡大し、4か所で実施しました。
自己評価	引き続き、高齢となって支援が必要となっても、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、地域のつながりや見守り体制等の充実を図り、支え合う地域づくりを推進します。

事業名	令和6年能登半島地震の被災者生活再建支援
目標	令和6年能登半島地震で被災した方々が、早期に生活再建できるよう、被災者生活再建支援金の支給や義援金の配分、災害援護資金の貸付等、円滑に支援が届くよう取り組みます。
年度末達成状況	罹災証明書を交付された被災者に対し、災害見舞金、知事見舞金、被災者生活再建支援金の支給申請書のほか、災害義援金の配分申請書を送付するなど、速やかに給付や配分を行うことができるようプッシュ型支援を行いました。
自己評価	引き続き、被災者に寄り添い、生活再建に向けた支援を円滑に届けられるよう、部局横断的な連携体制の推進に取り組みます。